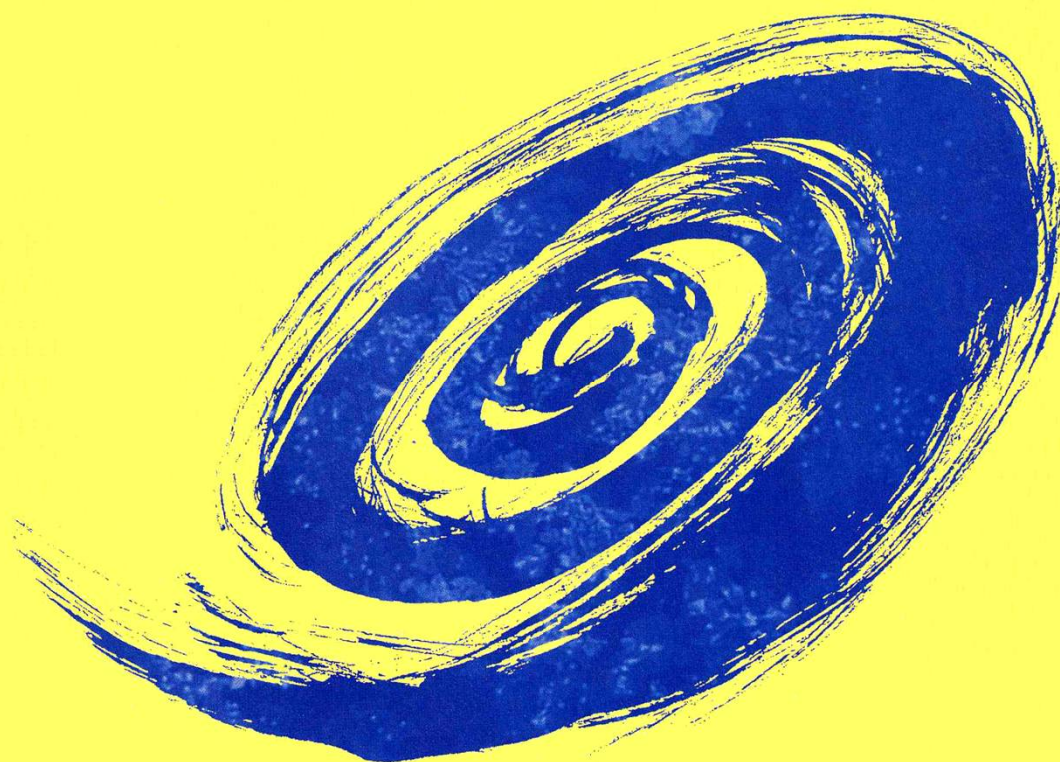


UMIN Infrastructure for Academic Activities
University hospital Medical Information Network (UMIN) Center

大学病院医療情報ネットワークセンター



UMIN

SINCE 1989

大学病院医療情報ネットワークセンター
University hospital Medical Information Network
Infrastructure for Academic Activities

<https://www.umin.ac.jp/>



UMINは、国際的にも類例のない、大規模かつ多機能な公的研究教育情報ネットワークに成長し、日本における医学研究教育活動の重要な情報インフラストラクチャーとして日々の研究教育活動に不可欠の存在となっています。

- 昭和63年（1988年）東京大学医学部附属病院中央医療情報部内に開設
- 昭和64年（1989年）N1プロトコールによる情報サービス開始
- 平成6年（1994年）インターネットによる情報サービス開始
- 平成9年（1997年）UMIN医療・生物学系電子図書館サービス開始
- 平成11年（1999年）国立大学病院VPN(UMIN-VPN)稼動
- 平成12年（2000年）インターネット医学研究データセンター（INDICE）開設
- 平成14年（2002年）東京大学医学部附属病院内に大学病院医療情報ネットワーク研究センターを独立設置
- 平成16年（2004年）UMIN運営委員会を、国立大学附属病院長会議常置委員会UMIN協議会に改組
オンライン卒後臨床研修評価システム（EPOC）運用開始
- 平成17年（2005年）UMIN臨床試験登録システム（UMIN-CTR）運用開始
- 平成18年（2006年）オンライン歯科臨床研修評価システム（DEBUT）運用開始
- 平成21年（2009年）INDICEにCDISC ODM形式での症例データ取り込み機能の提供開始
会員制HPサービスにWiki, Blog, BBS機能追加（UMIN 2.0）
UMIN 20周年記念式典・記念講演会開催
- 平成23年（2011年）UMINクリニカルカンファランスシステム（UMIN CC）の運用開始
- 平成25年（2013年）UMIN臨床試験登録システム（UMIN-CTR）に
個別症例データレポジトリサービス（UMIN-ICDR）の機能を追加
- 平成29年（2017年）UMIN-CTRにCDISC CTR-XML形式でのデータ登録機能の提供開始
INDICEに研究者自身で画面設計ができるクラウド版の機能を追加
- 令和2年（2020年）卒後臨床研修医用オンライン臨床教育評価システム（EPOC2）運用開始
- 令和3年（2021年）卒前学生医用オンライン臨床教育評価システム（CC-EPOC）運用開始

**UMINのサービスを利用するためには、UMIN IDの取得が必要となります。
利用資格に基づいてオンライン申請をしてください。**

個人用UMIN ID・パスワードは、原則として1人に1つの発行としており、ご取得後は一部利用権限の付与が必要なものを除いてUMINが運用する全てのサービスをご利用いただけます。
INDICE(インディース:インターネット医学研究データセンター)だけは、セキュリティの都合上別途専用のパスワード(UMIN IDに対し一般用PWとINDICE用PW)をご取得頂く必要があります。
他にも団体代表用、企業用等のUMIN IDがございますので、詳細は、下記URLをご参照ください。

<https://www.umin.ac.jp/id/uminid/touroku00.htm>

問い合わせフォーム <https://www.umin.ac.jp/faq/>

〒113-8655 東京都文京区本郷7-3-1 東京大学医学部附属病院 管理研究棟4階
大学病院医療情報ネットワークセンター（通称：UMINセンター）

ご挨拶

UMINは長年にわたって大学病院をはじめとした医療機関に様々なサービスを提供してきております。このことは、歴代のUMIN協議会長他関係者の皆様、そして、UMIN発展に多くの理解を頂いております文部科学省、東京大学スタッフ各位のご支援のおかげと、深く御礼申し上げます。

他の分野と同様、医療に於いても情報システムが寄与する範囲がいよいよ大きくなっています。多くの医療機関で電子カルテなどの医療情報システムが導入され、速やかなデータ共有、正確な情報蓄積がなされるようになり、更に注射薬の確認システムなどにより医療の質自体の向上にも貢献するようになりました。

更に近年は、医療機関の中だけでなく、機関同士を結ぶ連携システムの充実が進んでいます。UMINはまさに、そのような病院間のネットワークの先駆けとして発展して参りました。そして今、医学研究・教育の広い分野に対して有用なシステム提供を行い、また次世代につながる様々なサービスの試験運用にも挑戦しています。特に臨床試験登録システムなどのインフラは、日本の医学研究の質を上げるために非常に重要な役割を担っています。

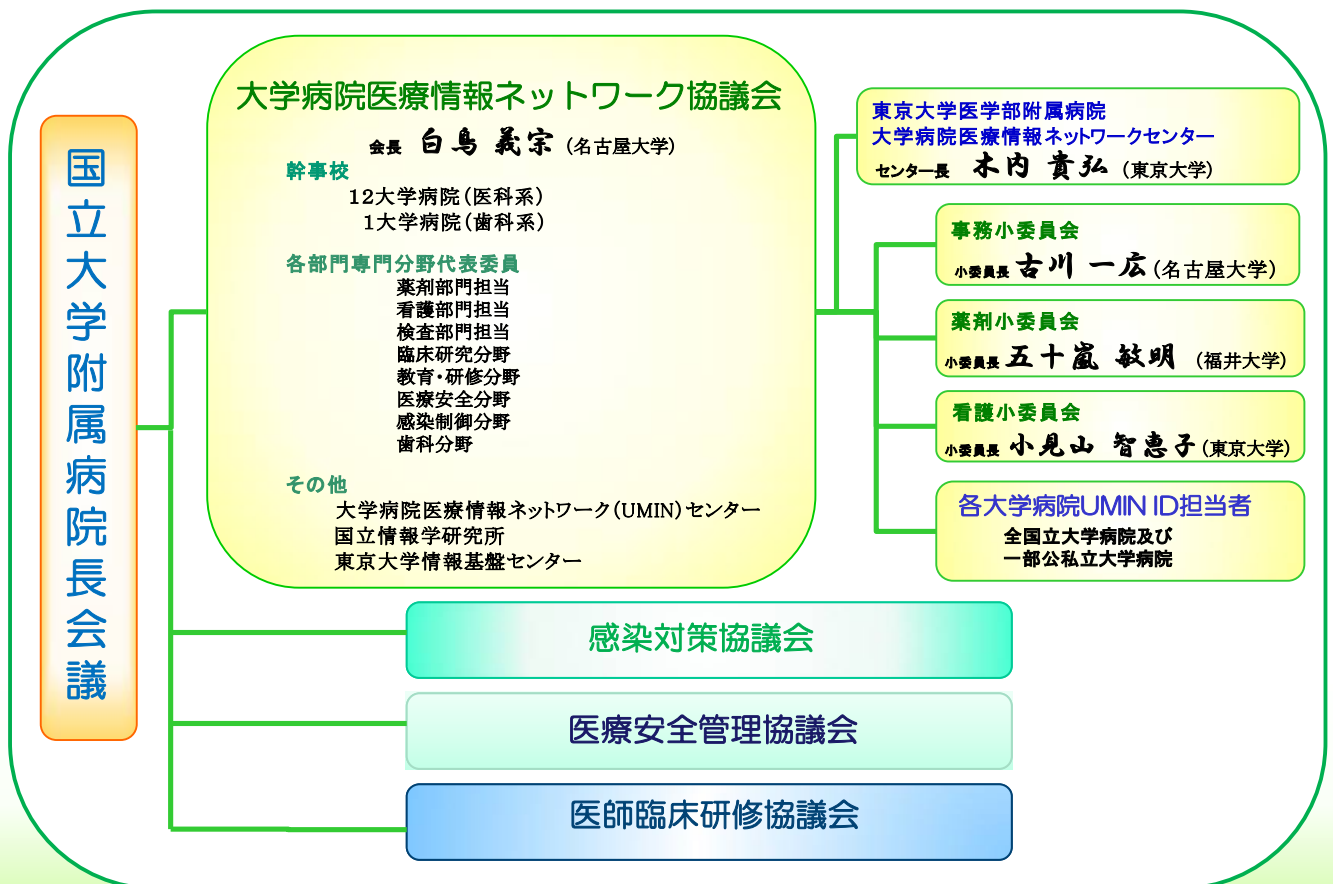
UMIN利用者の皆様に於かれまして、本小冊子をご覧になることで、UMINの活動により理解を深めていただき、医学医療の様々な業務にお役に立てくださることをお祈りしております。

国立大学附属病院長会議常置委員会大学病院医療情報ネットワーク協議会

会長 白鳥 義宗 (名古屋大学)

運営組織

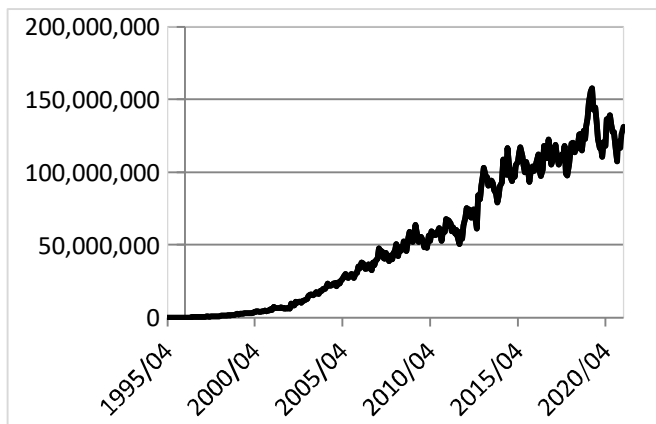
[令和3年(2021)3月26日現在]



利用状況等

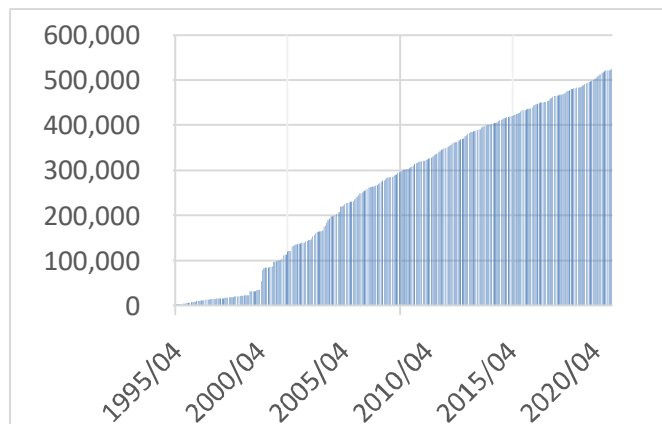
(1) 月間WWWページアクセス件数

月間約1億4千万ページビュー



(2) 利用登録者 (UMIN ID取得者) 数

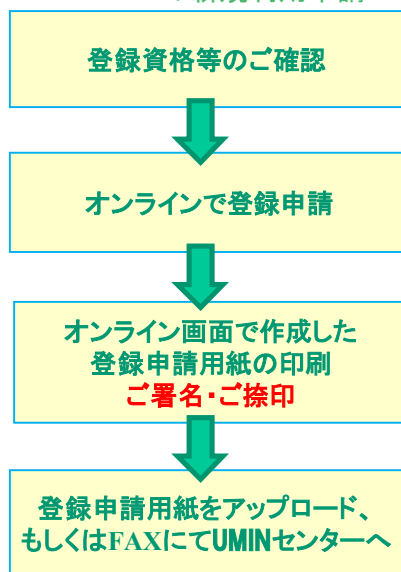
約52万人



利用登録 (UMIN ID取得) のご案内

新規UMIN IDご取得までの流れ

<https://www.umin.ac.jp/id/>
UMIN IDの新規利用申請



◆国立大学医学部附属病院・一部私立大学医学部附属病院にはUMIN IDのご担当がおられますので、そちらへご送付ください。

個人用UMIN ID登録資格

- 1) 医療関連の国家資格をお持ちの方
- 2) 医歯学・医療・生物学系の高等教育機関等(大学病院、大学医学部、歯学部、薬学部、看護学部(看護専門学校)、研究所等)にご所属の方
- 3) 医歯学・医療・生物学系の学会に所属し学術研究活動を行っている方
医師会、歯科医師会や薬剤師会、看護協会等の団体は学会ではありませんが学会に準じた扱いとなっておりますので、ご利用いただけます
- 4) 医歯学・医療・生物学系の学会事務局・公益法人・病院・NPO等で学術情報(学術雑誌編集、臨床研究支援等)を取り扱っている方
- 5) 臨床実習及び臨床研修を行うもの及びこれの指導または関連業務を行うもの

個人用UMIN ID・パスワードは、原則として1人に1つの発行としておりご取得後は一部利用権限の付与が必要なものを除いてUMINが運用する全てのサービスをご利用いただけます。

INDICE(インディース:インターネット医学研究データセンター)だけは、セキュリティの都合上UMIN IDは同じですが、別途専用のパスワードをご取得頂く必要があります。

他にも団体代表用、企業用等のUMIN IDがございますので、詳細は、<https://www.umin.ac.jp/id/uminid/touroku00.htm> をご参照ください。

【 Web パスワード更新 】

UMIN IDを入力し「アクセスコード送信」ボタン押下で、UMIN IDに登録されている連絡先メールアドレス及びUMIN ID@umin.ac.jpへアクセスコードを送信いたします。受信したアクセスコードを認証画面へ入力することで、お手元にてパスワード更新をおこなうことが可能です。(UMIN IDがご不明な場合には、お名前・性別・生年月日の入力でUMIN IDを特定し、アクセスコードを送信いたします)

<https://www.umin.ac.jp/id/passwd/repass.html>

上記URLから「Webパスワード更新」欄のいずれかのボタンを押下しお進みください。

※Webパスワード更新は「一般用パスワード」のみ更新されます。

一般用パスワードとは、UMIN ID発行時に必ず付与されるパスワードであり、電子メール・UMIN-CTR・EPOCなど一般的なUMINサービスに必要なパスワードです。

INDICEサービス・NCD症例登録システムの利用者へと付与される専用パスワードではありません。



INDICE Standard <https://indice.umin.ac.jp/>

臨床試験、疫学研究、症例登録等の医学研究データ収集(症例登録割付を含む)をインターネット経由で行うためのシステムです。UMINのサーバ及び独自開発の医学研究データ収集用ソフトを研究プロジェクト毎にカスタマイズしてご提供する、いわゆる電子症例報告書です。

※現在システム改修等の都合のため、新規申請の受付を休止しております。

- 1) **安価** 共同利用のため、安価にサーバ・データ収集用パッケージソフトウェアが利用可能です。
- 2) **安心** 約266研究プロジェクト、累積症例登録数約736万例(令和3年2月)と充分な運用実績があります。
(* NCDの収集症例数は含みません)
- 3) **安定** 専門のシステムエンジニアが日夜運用管理・保守を行ない、安定稼働に努めています。
- 4) **安全** ファイアウォール、暗号通信、侵入検知等のセキュリティ対策を行っています。
- 5) **安楽** ハード運用管理、ソフト開発・設定・保守、セキュリティ管理は、すべてUMINで行います。
約52万人分の医療関係者のUMIN IDを症例データ入力のためにご利用になれます。
- 6) **CDISC標準対応** 臨床研究データの交換標準であるCDISC標準(ODM形式)での症例登録に対応しました。

INDICE Cloud <https://www.umin.ac.jp/indice/cloud.html>

2017年より、INDICEの機能を研究者自身に独自運用を行なうべくサービスとするINDICE Cloud もあわせて提供しています。INDICE Cloudでは、UMINによるソフトウェア開発やサポートはありませんが、症例登録およびCRFデータ収集等の画面制作や各設定作業も容易で、データベースの作成が簡単にできます。また、無料でご提供していますので、予算や症例数が少ないプロジェクトでもご利用いただくことが可能である有用なシステムです。サーバーはUMINで管理していますので、安全・安定した環境でご利用いただけます。

運用・管理はプロジェクト管理者様の責任となりますが、クラウド版は症例登録およびCRFデータ収集等のデータベースの作成が容易に行える無料ソフトです。申請・審査等はありませんので、即日の運用が可能です。



CC-EPOC/EPOC2 (エポック2/シーシーエポック)

オンライン臨床教育評価 システム

<https://epoc2.umin.ac.jp/>

<https://cc-epoc.umin.ac.jp/>

- 1. 協力病院・施設からもリアルタイムアクセス
- 2. 研修医・指導医相互評価
- 3. メールによる評価依頼機能
- 4. メディカルスタッフ評価に対応
- 5. 卒前臨床実習評価(CC-EPOC)との連携機能
- 6. 将来の専門医申請に活用できる研修記録
- 7. QRコードによる評価入力機能

基本運用の流れ



EPOC2

- ・スマートフォン入力を前提
- ・臨床研修制度改訂に対応
- ・360度評価に対応
- ・ポートフォリオ機能を搭載
→ 経験症例インデックスの作成
→ 研修活動の記録

CC-EPOC

- ・スマートフォン入力を前提
- ・360度評価に対応
- ・ポートフォリオ機能を搭載
→ 経験症例インデックスの作成
→ 研修活動の記録

※評価入力画面イメージ



DEBUT (デビュー)

オンライン歯科臨床評価システム

Dental training Evaluation and taBUlation sysTem

<https://debut.umin.ac.jp>

DEBUTシステムの特長

- ・インターネット接続環境があればどこでも使用出来ることから、汎用性に優れている。
- ・研修プログラムごとに評価項目のカスタマイズが可能である。
- ・研修歯科医と指導歯科医から、双方向で臨床研修プログラムに関するフィードバックが可能である。

DEBUTシステム導入により期待できる効果

- ・歯科医師臨床研修カリキュラムにおける目標、方略、評価の三要素が完成し、臨床研修の質の向上が期待できる。
- ・研修歯科医と指導歯科医からの研修プログラムに対する双方向の評価(フィードバックシステム)を活用することによって、より良い研修プログラムの策定など臨床研修体制の改善に向けて期待できる。



図: 研修記録



ELBIS (エルビー)

UMIN医療・生物学系電子図書館

UMIN Electronic Library for Biomedical Science

<https://www.umin.ac.jp/elbis/>

1. 演題抄録・学術雑誌論文の電子投稿・

査読オンライン学術集会ページ

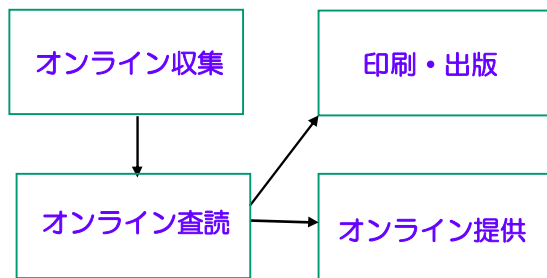
⇒省力化と迅速化

2. 文献書誌データベースの早期自動作成

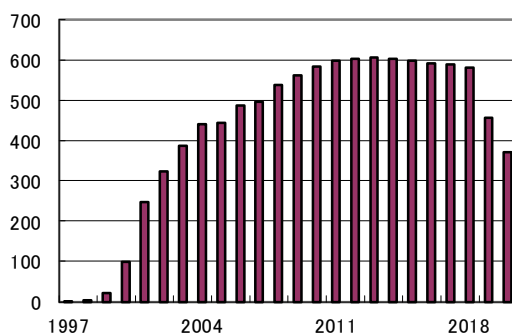
⇒研究者の便宜

3. 低コスト運用

⇒1本のソフトですべての学術集会、雑誌に対応



年度別利用学術集会数



OASIS (オアシス) / ISLET (アイレット)

会員制ホームページサービス

Online Academic Society Information Service

<https://www.umin.ac.jp/islet/>

会員名簿と会員制HPアクセス権・会員メーリングリストメンバーの連動

会員名簿(グループメンバー)管理
会員名簿検索システム(OASIS)

会員メーリングリストサービス利用(OASIS/ISLET)

・メーリングリストアーカイブス

会員制HPサービス利用(OASIS/ISLET)

- ・会員専用HP (HTMLファイル)
- ・会員専用Wiki (PukiWiki/MediaWiki)
- ・会員専用BBS (電子掲示板)
- ・会員専用Blog

主要利用学会

- 日本血栓止血学会
- 日本臨床リウマチ学会
- 日本心療内科学会
- 日本排尿機能学会
- 日本呼吸器外科学会
- 日本フットケア学会
- 日本臨床神経生理学会
- 日本内分泌学会
- 日本小児循環器学会
- 日本核医学技術学会
- 日本病理学会
- 日本心臓血管外科学会



図: PukiWiki



図: BBS



図: Blog



CDISC標準へのUMINの取り組み

UMIN Efforts for CDISC Standards

<https://cdisc.umin.ac.jp/>

1. CDISC標準によるデータ収集サービス

CDISC標準によるデータ収集サービスの受付を開始いたしました。【平成21年10月19日より】

2. UMIN INDICE Lower level data communication protocol for CDISC ODM

医療機関側から電子カルテやEDC等のシステムから電子的に臨床試験データを自動送付する場合の受信側の仕様を公開しています。【平成25年7月5日より】

3. 法医学データベースシステム

平成23年度科学研究助成事業(学術研究助成基金助成金【挑戦的萌芽研究】)により「CDISC標準を活用した死体検案書の施設別及び全国集計データベースの構築」を実施いたしました。本事業において各施設で稼働する死体検案書などのWindows版のCDISCクライアントソフトウェアを開発いたしました。これにより、各施設のデータ登録が容易になり、わが国の異状死体の法医学的分析が効率よく行えるようになり、日本全体の死因究明の精度向上を図ることができるようになります。(※本システムはLegal Medicine誌に掲載されております。)

4. UMIN-CTR

UMIN-CTRの試験情報登録にCDISC CTR-XML形式での試験情報登録機能を実装しました。国際標準規格であるCDISC標準形式をサポートしたことから他の機関との情報連携が容易になります。【平成29年より】



UMIN-CTR

UMIN臨床試験登録

UMIN Clinical Trials Registry

<https://www.umin.ac.jp/ctr/index-j.htm>

UMINが提供するInternational Committee of Medical Journal Editors (ICMJE) の基準を満たす臨床試験登録システムです。UMIN-CTRはICMJEの”acceptable registry”として認められており、WHO International Clinical Trials Registry Platform における日本のプライマリレジストリであるJapan Primary Registries Network のひとつです。国内の臨床試験登録件数のうち85%以上がUMIN-CTRに登録されています。平成21年4月1日より施行されている「人を対象とする医学系研究に関する倫理指針」の記述中の「国立大学附属病院長会議」が設置しているデータベースがUMIN-CTRをさしており、研究の実施前に研究計画の概要を、研究終了後には研究結果を登録することが求められています。UMIN-CTRでは試験情報登録にCDISC CTR-XML形式での登録も受け入れており、他の機関との情報連携が容易になっています。



令和3年3月時点で **43,041** 件の登録があります。



UMIN-ICDR

UMIN症例データレポジトリ

UMIN Individual Case Data Repository

<https://www.umin.ac.jp/icdr/index-j.html>

症例データレポジトリシステムは、UMIN臨床試験登録システムの機能追加の形態で実装されています。このシステムは、研究者が自身の実施した臨床研究について、匿名化した個別症例データセットを研究者自身の同意のもとにUMINサーバに保管し、UMINがその内容を第三者に担保するものです。下記のような効果が期待できるため、近年国際的にもレポジトリの重要性が認識されてきていますが、UMINでは世界に先駆けて設置しました。

1. 研究データの捏造・改竄のチェック
2. 研究者(研究資金提供者も含む)にとって都合の悪い統計解析結果の隠蔽の防止
3. データ解析の再現性の確保



UMIN

UMINセンター

<https://www.umin.ac.jp/>

大学病院医療情報ネットワークセンター

University hospital Medical Information Network (UMIN) center

〒113-8655 東京都文京区本郷7-3-1

東京大学医学部附属病院 管理研究棟4階

大学病院医療情報ネットワークセンター

(通称：UMINセンター)

問い合わせフォーム <http://www.umin.ac.jp/faq/>

FAX 03-5689-0726

© University hospital Medical Information Network (UMIN) center

第18版 令和3年(2021年)3月発行